

令和3年度 連携・協力事業の実施状況について

教育課題研究専門部会

【プロジェクト名】 ICT活用による学校支援

1 プロジェクトの目的・概要

GIGAスクール構想の前倒しにより、佐賀県内全ての公立学校に1人1台端末が整備され、1人1台端末を効果的に活用した授業づくりや教職員のICT活用指導力の向上が求められている。佐賀県では、令和3年度より、ICT活用教育を「プロジェクトE」と位置づけ、県立学校においては、1人1台端末を活用した授業改善と教育活動のオンライン化に重点的に取り組んでいる。また、県立学校においてこれまでに得た知見やノウハウを市町立学校に提供することで1人1台端末活用の推進を図りながら、各学校における成果や課題を把握し、事業を推進する。

大学と県教育委員会は、佐賀県「ICT活用教育の推進に関する事業改善検討委員会」における意見交換などを踏まえ、教材や指導法の開発と実証研究を佐賀県内の学校、附属学校園と共同で行う。

その成果を現職教員、教員志望者の研修支援に活用し、県内のICT活用教育「プロジェクトE」の推進を図る。

2 令和3年度の実施実績

(佐賀大学)

- (1) 佐賀県「ICT活用教育の推進に関する事業改善検討委員会」会議に参加し、佐賀県における今後のICT教育の在り方について協議等を行った。
- (2) 佐賀県教育フェスタにおける高校生ICT活用プレゼンテーション大会審査を担当した。また教職員によるICT活用教育指導事例発表を拝見し、佐賀県内の学校現場におけるICT活用の高度な事例を把握することができた。
- (3) 本学附属学校におけるGIGAスクール構想に関わって、附属教育実践総合センターを中心に、研究発表会の際にICT活用を伴う教育モデルの発表ができる体制づくりを行った。
- (4) 新型コロナウイルスの影響による制限の下で、対面とのハイブリッド形態を含む遠隔授業、遠隔会議、教員間・教員学生間の連絡、入試業務等についてICT活用の実践が行われ、通常の業務中におけるICT活用が進んだ。
- (5) 教育学部・教職大学院のWEBサイトについてWordPressを用いた固定ページと投稿ページ併存の形態への更新を行い、学部・大学院の教員情報の更新や、大学院から毎月情報発信が行われている院生の学校現場からの活動報告である「ライフレポート」を毎月ブログとして投稿し、情報発信を日常的に行っている。

(県教育委員会)

- (1) 佐賀大学教職大学院の授業では、「学校教育における教育の情報化」や「ICT活用教育に関する佐賀県教育委員会の取組」などの講義として、国の動向や県の取組について情報提供を行い、現職教員や教員志望者のICT活用教育の理解促進を図った。

- (2) 以下の各種研修会を実施し、ICT活用教育「プロジェクトE」推進や1人1台端末を活用した授業改善等について、職務や分掌などそれぞれの役割に応じた情報提供を行い、全県的なICT活用教育の更なる推進を図るとともに、市町におけるGIGAスクール構想の円滑な実施に向けた支援を行った。
- 教科リーダー、エリアリーダー研修会（公開授業を含む年間5回程度）
 - 教育情報化推進リーダー研修（年間2回）
 - 初任者研修
（6/11～8/6 オンデマンド研修、7/30～1/28 オンデマンド研修及び授業実践）
 - 3年経験者研修（6/18～9/30 オンデマンド研修及び授業実践）
 - 管理職研修（5/13～6/3 オンデマンド研修）
- (3) 市町立学校への支援として、下記の取組を行い、1人1台端末を活用した授業づくりについて情報提供を行い、1人1台端末活用の推進を図った。
- 「授業づくりに役立つ！1人1台端末の活用力向上研修」（11/12, 11/15, 12/13, 12/14）
 - 1人1台端末の活用の校内研修に係る学校支援
（小学校46校、市町教育委員会1市、事務担当者2町）
 - 研究指定校による研究の推進（小学校2校、中学校1校）
- (4) 佐賀県の重要かつ特徴的な教育施策に関する周知及び県内の子供たちの成果発表の場として佐賀県教育フェスタを実施した。その中で、ICT活用教育に関するものとして、「高校生ICT活用プレゼンテーション大会」では、生徒の創造力や情報発信力の育成を図る場として実施することができた。また、「教職員によるICT活用教育指導事例発表」では、1人1台端末の活用に係る取組について事例を提供することができた。
- (5) 県立学校において、感染症拡大や台風・豪雨などの自然災害など、非常変災時の学習の機会を保障するため、オンライン授業を実施するにあたり、通信環境がない生徒へUSB型携帯端末を貸与し、家庭状況に配慮した学習活動を実施することができた。
- (6) 全県立学校へ、学校のプロモーション動画や諸行事（体育祭、文化祭等）を映像配信するためのYouTubeアカウントや県外、海外との交流やオンライン研修を実施するための外部通信用Zoomアカウントを配付し、教育活動のオンライン化を推進することができた。

3 今後の予定等

(佐賀大学)

1. 本学附属学校におけるGIGAスクール構想に関わって、各学校での日常的な利活用は、進んでいるが、大学との共同研究としての「教育モデルの提供」の成果を挙げることを直近の必須事項であると位置づけている。
2. 本学附属学校におけるGIGAスクール構想に関わって、各附属学校のインターネット回線の脆弱性をより一層改善していく必要性について報告を受けており、対処が必要であると考えている。
3. 教育学部・教職大学院・附属学校園の一体的な態勢が構築されつつある中で、佐賀県との連携をより充実させて頂き、佐賀県教育の質の向上に恒常的に資する教育・研究・研修活動を行っていく体制作りを行って参りたい。

(県教育委員会)

1. 1人1台端末を活用した授業改善と教育活動のオンライン化に重点的に取り組んでいき、ICT活用教育「プロジェクトE」推進に全県的に取り組む。
2. 各種研修会において、県立学校においてこれまでに得た知見やノウハウを活かしながら、1人1台端末を活用した授業における効果的な事例等の提供を行い、全県的な1人1台端末活用の推進を図る。
3. 感染症拡大や台風・豪雨などの自然災害など、非常変災時の学習の機会を保障するためのオンライン授業や、オンラインを活用した交流、諸行事の配信など日常的な教育活動のオンライン化を図る。
4. 佐賀大学と連携し、ICT活用教育「プロジェクトE」推進に係る研修や学校支援などの充実を図る。